

フタモンマダラメイガ(クロフタモンマダラメイガ)

英名 : Persimmon bark borer

学名 : *Euzophera batangensis* Caradja



成虫



粗皮に潜り込む幼虫

生態と防除

発育経過 : 卵→幼虫→蛹→成虫

加害部位 : 樹皮下の形成層を食害する。食害は枝の分岐部やせん定の切り口、徒長枝の基部などに多い。

越冬形態 : 幼虫

発生回数 : 3~4回

防除対策 : ヒメコスカシバに準ずる。